

再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課

担当課長名：高松 諭

事業名	一般国道2号 <small>かさおか</small> 笠岡バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自： <small>おかやまけんかさおかしにしおしましんでん</small> 岡山県笠岡市西大島新田 至： <small>おかやまけんかさおかしもびら</small> 岡山県笠岡市茂平	延長	7.6 km		
事業概要					
<p>一般国道2号は、<small>おおさかふおおさかしきたく</small> 大阪府大阪市北区を起点とし、<small>ふくおかけんきたきゆうしゅうしもじく</small> 福岡県北九州市門司区までを結ぶ延長約680kmの主要幹線道路である。</p> <p>笠岡バイパスは、<small>おかやまけん</small> 岡山県南西部に位置し、<small>おかやまけんかさおかしにしおしましんでん</small> 岡山県笠岡市西大島新田から<small>かさおかしもびら</small> 笠岡市茂平を結ぶ位置する延長7.6kmの高規格道路である。</p> <p>事業目的は、岡山県西部地域の交通混雑の緩和及び交通安全の確保を図るものである。</p>					
S63年度事業化		S63年度都市計画決定		H2年度用地着手	
H10年度工事着手					
全体事業費	約543億円	事業進捗率	約77%	供用済延長	4.9 km
		(令和5年3月末時点)			
計画交通量	49,300 ~ 56,800 台/日				
費用対効果分析結果	B/C (3便益) (事業全体) 2.8 (残事業) 10.9	総費用 (残事業)/(事業全体) 145 / 747 億円 事業費 : 114/691 億円 維持管理費 : 32/56 億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 1,589 / 2,113 億円 走行時間短縮便益 : 1,377/1,864 億円 走行費用減少便益 : 154/189 億円 交通事故減少便益 : 58/59 億円	基準年 令和5年	
感度分析の結果					
<p>(事業全体) 交通量 : B/C=2.0~3.7(交通量±10%) (残事業) 交通量 : B/C= 9.6~13.6(交通量±10%) 事業費 : B/C=2.8~2.9(事業費±10%) 事業費 : B/C=10.1~11.9(事業費±10%) 事業期間 : B/C=2.7~3.0(事業期間±20%) 事業期間 : B/C=10.4~11.6(事業期間±20%)</p>					
事業の効果等					
<p>①円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・損失時間の削減が期待される。 ・現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される。 ・国道2号を利用するバスの利便性向上が期待される。 ・里庄町から福山駅（新幹線駅）へのアクセス向上が期待される。 <p>②物流効率化の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・笠岡港港町地区工業団地から水島港（国際拠点港湾、国際バルク戦略港湾）へのアクセスが向上が期待される。 ・農林水産品を主体とする地域：笠岡市（笠岡湾干拓地） 主な出荷先：全国 <p>③国土・地域ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高規格道路「倉敷福山道路」の一部として位置づけ <p>④個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点開発プロジェクトを支援する（笠岡市笠岡湾干拓地域バイオマスタウン構想） ・倉敷美観地区（R4観光入込客数：約232万人/年）へのアクセス向上が期待される。 ・笠岡・笠岡諸島（R4観光入込客数：約103万人/年）へのアクセス向上が期待される。 <p>⑤安全で安心できるくらしの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第三次救急医療機関（福山市民病院）へのアクセス向上が期待される。 <p>⑥災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道2号が岡山県地域防災計画における第二次、第三次緊急輸送道路として位置づけ。 ・第一次緊急輸送路である山陽自動車道、国道2号の代替路線として機能する。 <p>⑦地球環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量の減少が期待される。 <p>⑧生活環境の改善・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NOX排出量の減少が期待される。 ・SPM排出量の減少が期待される。 					

⑨他のプロジェクトとの関係

- ・第3次晴れの国おかやま生き生きプラン（R3.3）において「企業誘致・投資促進プログラム」の重点施策「交通基盤整備」に位置づけ。
- ・第7次笠岡市総合計画後期基本計画（R4.4）において、企業誘致の推進と雇用促進、道路ネットワーク及び港湾・漁港の整備を図る道路として位置づけ。

関係する地方公共団体等の意見

笠岡バイパスは、交通混雑の緩和等に重要な役割を果たすことが期待されており、3市1町（倉敷市、浅口市、笠岡市、里庄町）から構成される「国道2号玉島笠岡間整備促進協議会」より、早期整備の要望を受けている。

岡山県知事の意見：

一般国道2号笠岡バイパスについて、継続するとの対応方針（原案）は妥当である。
 本路線は、広島県東部と岡山県西部を連絡する高規格道路「倉敷福山道路」の一部を構成する。
 国道2号の渋滞緩和は、物流の効率化や生産性の向上、さらには新たな企業立地に直結するため、非常に重要である。
 アクセス道路について、県は整備を終え、笠岡市が全力で整備に取り組んでいる。笠岡港（港町地区）工業用地や笠岡湾干拓地への新たな企業立地や、既に立地している企業の生産性の向上のためにも、開通見通しを公表している令和7年度の確実な開通と、玉島・笠岡道路（Ⅱ期）との同時供用を強く望む。
 なお、事業の実施にあたっては、一層のコスト縮減に努めてもらいたい。

事業評価監視委員会からの意見

事業者から各事業の概要、評価結果及び対応方針（原案）について説明を受け、事業が適切に実施されているか審議を行い、次のとおり意見の取りまとめを行った。
 審議の結果、再評価対象の事業は適切に実施されており、事業継続とすることとした事業者の判断は妥当であると意見集約した。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

笠岡湾沿岸部工業地帯の産業振興や笠岡湾干拓地域のバイオマスタウン構想等により、沿線地域において更なる交通需要が見込まれる。

事業の進捗状況、残事業の内容等

令和5年3月末時点で、事業全体の進捗率は約77%、用地の進捗率は約100%である。現在までに、「笠岡市西大島新田～笠岡市入江（L=0.4km）」及び「笠岡市カブト南町～笠岡市港町（L=2.9km）」及び「笠岡市港町～笠岡市鋼管町（L=1.6km）」間の側道部が供用済みである。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

投資効果の早期発現を図るため段階的に整備しており、引き続き令和7年度供用を目指し事業を推進する。

施設の構造や工法の変更等

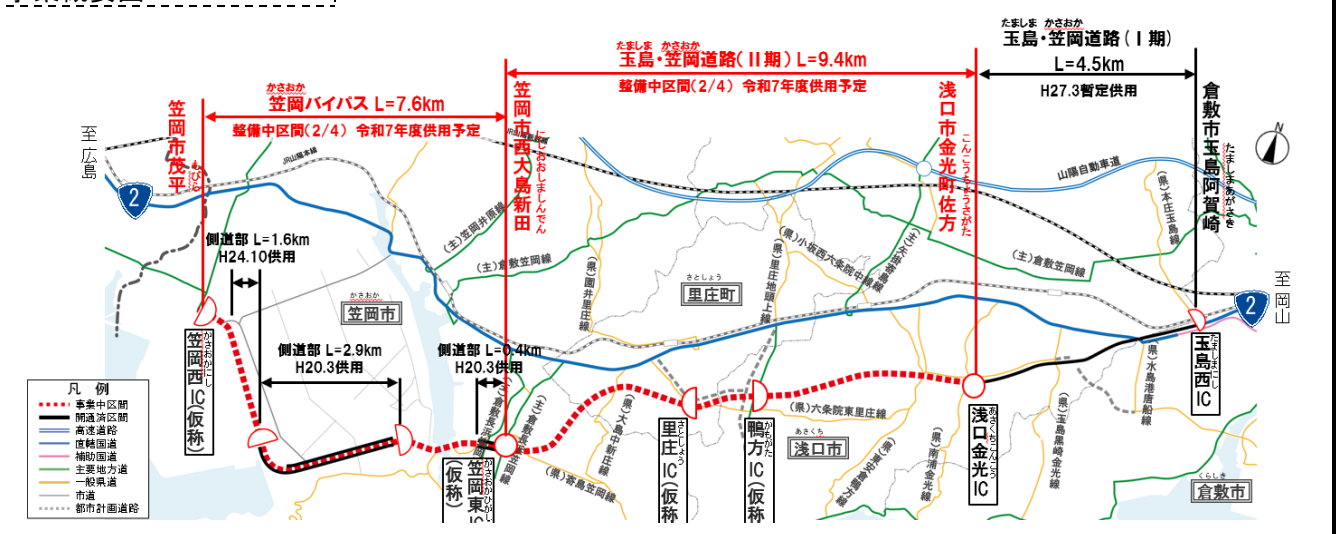
今後の事業の実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、事業を推進していく。

対応方針（原案） 事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。